

令和2年度 1月(第5回) 理事会議事録

日時：令和3年1月13日(水) 19:00~20:10	
本会議場およびZoomによるWeb参加	
出席者：(会場) ナースプラザ福岡 3F 301 研修室	
総務局長	池上新一
運営理事	荒木敏造、坂本徳隆、新田誠
監事	北里謙二、柳本孝子
書記	堀田飛香
事務局	金子千代美
(Web)	
会長	西浦明彦
副会長	倉重康彦、外山洋子
運営理事	大久保文彦、緒方昌倫、木村賢司、加藤康男、佐藤房枝、長谷一憲、田代恭子
理事	赤池一男、浦園真司、中村洋亮、佐藤謙一
欠席者：運営理事	生田幹博
理事	山田久、小野裕一郎
書記	市丸加奈子

【議事】 司会 総務局長 池上新一

- ◇議題
1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策(2月以降)について 会長 西浦
 2. 第30回福岡県医学検査学会 WEB開催についての報告 北九州地区長 佐藤
 3. 第70回日本医学検査学会の進捗状況について 副会長 倉重
 4. 新入会員研修会 WEB開催について報告 運営理事 荒木
 5. 各部報告
 6. 各地区報告
 7. その他

◇会長挨拶 西浦明彦

新年度になりました。皆様方、本年もよろしくお願ひ致します。福岡も緊急事態宣言となかなか厳しい状況ではありますので、5月の日本医学検査学会の開催のあり方についても三役で話し合いを持ち、福岡県の見解としては完全Web開催とする旨を日臨技に伝えてあります。今週土曜日に日臨技執行理事会がありますので、そこで議題としてあがります。理事会後に宮島会長交えてWeb会議を行って、方向性を決める予定です。皆さんからも、意見や提案があればお願いします。多くの声を日臨技に届けたいと思っています。

1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（2月以降）について 会長 西浦
2月は今以上の状況悪化も考えられます。研修会はWeb開催のみと1月の対応を継続します。理事会については現状通り、可能な方は現地参加としますが、状況をみながら判断したいと思います。反対意見なく承認となった。
2. 第30回福岡県医学検査学会 WEB開催についての報告 北九州地区長 佐藤
北九州地区の資料を参照願ひます。参加状況ですが、資料の人数に一部修正があります。参加総数は685名でした。福臨技会員は590名でアンケート回答者は374名。賛助会員14名、学生68名、非会員（県外）13名でした。アンケート内容等については次回報告致します。役員や学会に携わった方でアンケート未提出の方がいます。参加登録はアンケートにて行いますので、そこをどうするか。大久保学術部長より、把握が出来ている方々については参加登録を行ってよいのではないかと。西浦会長より、非会員の参加登録も対応出来ればお願いしたい。大久保学術部長追加発言、抄録がHPからダウンロードできない状況が続いていた。質疑応答が活発で座長がよく機能してくれたと思っている。
最優秀演題について大久保学術部長より。全理事より投票いただき得票数の多い方を選出しました。検討演題については「血糖コントロールと糖尿病合併症関連検査との関連について」聖マリア病院 瓜生技師、症例演題については「当院で経験した「高アンモニア血症」の一例 70歳で発症した尿素サイクル異常・OTC欠損症」田川市立病院内LSIメディエンス 廣瀬技師とした。反対意見もなく決定となった。本人が辞退される場合はルールに従い次点の方を推薦いたします。西浦会長より受賞者の表彰をどうするかを検討する必要がある。コロナ禍で韓国との交流も途絶えており、前年度の受賞者の表彰も行なえていない。今年の5月末日予定の定時総会での表彰を考えている。反対意見はなく、総会にて表彰を行うこととなった。
3. 第70回日本医学検査学会の進捗状況について 副会長 倉重
1月7日に緊急で三役会議を行い、今後の学会の開催形式をどうするか検討した。今週事前参加登録の開始予定でしたが、このまま開始すると参加費が納入されてきますので、今後学会の開催形式を変更することになれば参加費も変わってくるので、払い戻しの作業が発生することになります。緊急事態宣言も出ましたし、完全Webとした方が安定的に学会運営が出来るのではないかと結論に至った。Webとするなら

ば5月15日より1ヶ月の視聴、事前登録は2月15日を目途に開始し、開催期間中も登録ができる体制とする。実現できるかはわからないが特別講演など一部の講演についてはオンライン開催し収録をWeb配信したいと考えている。主題プログラムや一般演題はQ&Aを採用して、音声収録のPPTで対応したり、事前にオーガナイザーを含めた座長と演者でzoomで事前収録を行い配信するなど、細かいところまでの福岡県の見解を文書で日臨技に提出しています。西浦会長も挨拶でおっしゃられましたが、土曜日に福臨技の見解をお話しする予定です。しっかりお話しさせていただきますが、あくまでも日臨技が最終決定機関です。完全Webとなれば役割等も変わってきますので、1月20日の実行委員会で報告させていただきます。西浦会長より各理事意見を求められたが、全理事Web開催との見解であった。大久保学術部長より、プログラムの座長推薦を行っている。今まではどの演題を担当するのかわからないまま推薦が行われていたが、今回は演題を指定して推薦を行っている。コアプログラム・プログラム委員の方々は年末にこの作業を行って頂き1月5日に集計できました。特殊な演題については複数県にお願いすることをやらなければいけない。座長依頼の案内文作成についてWeb開催との文言を今後入れてよいものか、案内文を作成次第、また相談いたします。

4. 新入会員研修会 WEB 開催について報告

運営理事 荒木

開催日時は昨年12月11～13日の三日間で90分の講義です。参加者・レポート提出者は33名で講師や実行委員は11名、合計44名でした。レポート内容は新入会員らしい前向きな姿勢を強く感じるものでした。

5. 各部報告

●管理・運営（荒木）

提示した資料に沿った、発送文書、2020年度会費納入数、運営資金納入数、地区別集計について報告。

●財務管理部長（加藤）

提示した資料に沿った、令和2年12月分の会計報告。予算が執行されていない現状となっています。

●学術部長（大久保）

資料に沿ったWeb研修会の開催報告。Web研修会について長崎県から問い合わせが来ております。西浦会長からの指示もあり、リーダーシップを発揮する福岡県としてWeb開催関連の手順書を渡しています。

2020年度学術奨励基金については応募がありませんでした。

●精度管理（坂本）

精度管理研修会をWeb形式で令和2年12月19日に実施しています。参加登録期間が短かったため、1月15日、16日にも同じ内容で開催を予定しています。

●広報・情報管理（緒方）

資料に沿って発送作業等報告。

事務局便りは1枚から10数枚で各施設に送っています。今後は各施設1枚とし、複数枚必要な施設は福臨技HPから印刷して使用して頂きたいと考えている。この意見に

反対はなし。今後、運用変更に当たり広報文書を作成しますので確認をお願いします。

資料に沿って、会議予定と福臨技HPバナー削除報告。

日臨技HPにタスクシフティングについての講義案内があります。これを福臨技HPにリンクを貼って紹介してはと考えている。2月の理事会での検討事項でもあり承認とする。

●企画運営（木村）

群馬県と群臨技が締結した、災害対策に対する取り決め文書や資料をもらいましたので今後会議等を持ち進めていきたいと考えています。

●公益事業部長（生田欠席）

報告事項なし。

6. 各地区報告

●福岡地区（新田）

昨年11月に行った新人研修会の内容を中心に福岡地区ニュースを福臨技HPに掲載予定です。

●北九州地区（佐藤）

先ほど報告した県学会の報告以外はありません。

●筑後地区（田代）

資料に沿った研修会報告と昨年12月に開催した運営委員会の内容報告。

●筑豊地区（長谷）

報告事項なし。

7. その他

1)

◇共催申請 0件

◇後援依頼 0件

2)

木村運営理事より、県学会は質問が沢山でて、座長が活躍してくれた。質問が締切りぎりぎり書き込まれ、解答できなかったものがあると聞いている。Q&Aのみ福臨技HPに掲載する対応はいかがでしょうか。可能ではあるが、作業的には非常に労力を要するため、そこまでする必要はないのではと、見送りとなった。

加藤運営理事より、今月28日に予算委員会を開催するが、事前に予算案を配布しますので三役の方確認をお願いします。各部長で来年度新規の予算建があればメールにて提案ください。

倉重副会長より、先ほど加藤部長から12月の予算報告があったように、予算が余っているようなので今年度、日もそんなにありませんが会員ニーズに合ったような何かにも使っていた方がよいのではと考えている。今年度で各部長さんからも提案があればと思うが。緒方運営部長より福臨技HPのリニューアルを考えているので、

前倒しで検討してもいいかと考える。進める方向で検討を行います。

田代筑後地区長より、zoom は 1 回線で 100 人までしか入れない。これを拡張して頂くことを提案する。これについては全員了解しているので、早急に拡張する方向で対応いたします。木村運営理事が担当し、契約まで進める。荒木運営理事からの各地区に回線を持たせ計 5 回線とする案で進めることとなった。

議事録作成 令和 3 年 1 月 14 日

池上新一

議事録署名

_____ 印 _____ 印 _____ 印